

会 告

◀土木学会・その他行事案内▶

月 日	行 事	備 考
10月15日(木)	中部支部研究発表会	9号 6ページ参照
10月15日(木)	創立50周年記念特集号懸賞論文締切	9号 綴込 "
10月17日(土)	関西支部学生のための映画会(第2回)	10号 9 "
10月20日(火)	第9回水理講演会講演申込締切	10号 3 "
10月20日(火)	日本工学会第10回見学会	9号 4 "
10月20日(火)	大河内賞募集締切	9号 7 "
10月24日(土)	関西支部生学のための映画会(第3回)	10号 9 "
10月27日(火) ~ 31日(土)	第7回標準化全国大会	7号 7 "
10月31日(土)	第11回風に関するシンポジウム講演申込締切	9号 8 "
10月31日(土)	関西支部学生のための映画会(第4回)	10号 9 "
11月6日(金)	土木学会創立50周年記念式典・祝賀会	} 10号綴込 "
7日(土)	" 記念講演会	
8日(日) ~ 10日(火)	" 見学会	
11月7日(土)	関西支部学生のための映画会(第5回)	10号 9 "
11月11日(水) ~ 12日(木)	岩の力学国内シンポジウム	10号 1 "
11月15日(日)	関西支部年次学術講演会	10号 6 "
11月16日(月) ~ 19日(木)	第6回アイソトープ会議	5号 5 "
11月25日(木)	土木技術者の活躍と大学土木教育に関するシンポジウム	10号 2 "
11月25日(水) ~ 27日(金)	第11回海岸工学講演会	10号 4 "
11月26日(木)	日本ACI構造用軽量コンクリートシンポジウム	9号 6 "
11月27日(金)	第11回橋梁・構造工学研究発表会	10号 2 "
11月30日(月)	北海道支部研究発表会論文締切	9号 5 "
12月9日(水)	アルミナセメントについての化学技術者と土木技術者の集会	10号 2 "
そ の 他	第1回衛生工学講演討論会	9号 1 "
	水理学および流体力学に関する第2回濠州アジア会議	10号 3 "
	国際水理学会(IAHR)第11回大会	10号 3 "

“岩の力学”国内シンポジウム(1964)開催について

土木学会岩盤力学委員会では今年度は毎年行なっております岩盤力学に関するシンポジウムにかえて、標題のシンポジウムを共催で開催いたしますのでふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日: 1964年11月11日(水), 12日(木)の両日
2. 場 所: 東京・有楽町・毎日ホール(毎日新聞社内)
3. 共 催: 土木学会・日本鉱業会・土質工学会・日本材料学会
4. 参加費: 1000円(講演集代をふくむ)
5. 申込方法: (1) 官製はがきに氏名, 年令, 通信先, 勤務先をご明記のうえ 10月15日までに必着のよう土木学会宛お申込み下さい。
 (2) 定員がありますのでお申込みを受理いたしましたところで共催学会で連絡のうえ, 参加可能な場合には締切期日後10日以内に受理通知を差し上げますからそれにより参加費をお払込み下さい。
 (お申込みなしの当日参加はご遠慮下さい)
- (3) 参加費を収納いたしましたならば折返し参加証をお送り致します。
6. 懇親会: 11月11日(水)の夜懇親会を開催する予定です(参加費700円程度)。参加希望者はお申込みに併記してお申出下さい。
7. 講演時間, 題目および講師: 本誌第49巻第9号3ページ参照

土木技術者の活躍と大学土木教育に関する シンポジウム開催について

大学土木教育委員会では土木図書館開館記念行事の一環として標記シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1964年11月25日(水)
2. 場 所：土木図書館講堂および会議室
3. 日 時：午前—委員会報告と討議

9.00～9.20	土木技術と大学土木教育に関する従来の討議
9.20～9.40	土木技術者の活躍状況
9.40～10.00	講座構成と学生数の変遷
10.00～10.20	大学土木教育に関する一般的希望
10.20～10.40	求人立場から見た大学土木教育
10.40～10.00	大学院の役割とその将来
11.00～12.00	討議

委員長	米屋 秀 三
委員	増岡 康 治
委員	丹羽 義 次
委員	堺 毅
委員	高野 宗 司
委員	嶋 祐 之

午後—講演

13.00～14.00	現代社会における土木技術者の役割
14.00～15.00	土木技術者の未来像
15.00～16.00	大学土木教育のあり方 (講演者は目下交渉中)

夜—懇談会

17.00～19.00	(要含参加費)
-------------	---------

アルミナセメントについての化学技 術者と土木技術者の集会

コンクリート委員会 委員長 国分正胤

超早強セメントとしてのアルミナセメントについて土木技術者の関心が高まっておりますので化学関係の方も混え、使用方法その他につき懇談したいと存じます。ふるってご参集のほどをお願いします。

- 期 日：1964年12月9日(水) 13時より
- 場 所：土木図書館講堂
- 収容人員：200人それ以上はお断りすることがあります。

構造物、特に高層長大スパン構造に加わる 外力と構造設計に関する研究発表会開催 (第11回 橋梁・構造工学研究発表会)

今年度は、下記要項により、標題の研究発表会を開催いたします。ふるってご参加下さい。

1. 共 催：日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会、土木学会、日本建築学会
2. 日 時：1964年11月27日(金)
3. 会 場：東 京
4. 論文内容：前年度本研究発表会に引き続き、近年注目をあびつつある、高層ならびに長大スパン構造につき、それらに働く外力とその構造設計に関する研究発表

第9回水理講演会講演募集

第9回水理講演会は、来年2月、東京において開催されます。講演ご希望の方はつぎの要領によりふるってご応募下さい。

1. 日 程：1965年2月12日(金)、13日(土)
2. 会 場：東京(未定、決定次第会告にてお知らせします)
3. 内 容：講演会およびセミナー
4. 形 式：講演会は従来通り課題による講演発表とし、これに一般報告形式を加味する予定、セミナーの課題は「河川災害の予知」とし、指定された担当者の作成せる資料を当日配布する。
5. 講演会課題：a) 開水路の不定流
b) 水理構造物に関する流れの問題
c) その他(自由)
6. 講演申込期日：1964年10月20日(火)
7. 講演集原稿締切：1964年11月16日(月)
8. 講演原稿：1題目につきオフセット印刷用原稿用紙6枚(1枚は1480字詰、図表、写真をふくむ)以内を厳守して下さい。題目申込み次第所定の原稿用紙をお送りします。原稿通りにタイプで打ち直しますので、図面、写真は別添として、原稿中のそう入箇所に必要な余白をあけて下さい。図面および複雑な表はトレーシングペーパーに必ずスミ入れして下さい。
9. 申 込 先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会水理委員会係

国際水理学会(I.A.H.R.)第11回大会

1. 開催地：Leningrad, U.S.S.R.
2. 期 日：1965年9月7日～11日
3. 課 題：(1) 高速流 (high velocity flow)
開水路の高速流(空気連行)、水理構造物に生ずるキャピテーション、エネルギー減勢の問題を含む
(2) 排水の放出 (outfall of waste water)
(3) 開水路の不定流 (unsteady flow in open channels)
(4) Hydro-elasticity
4. セミナー主題：(1) 河川や貯水池内の流れにおよぼす低温の効果(氷の問題を含む)
(2) 非飽和多孔質媒体内の水の浸透
(3) 海岸での浮遊物質の輸送と拡散
(4) 水力機械における流体力
5. 論文提出期限：1965年1月1日
6. 詳細の問合せおよび出席予定の方は土木学会水理委員会までご連絡下さい。

水理学および流体力学に関する第2回濠州アジア会議

1. 会議開催地：New Zealand, Auckland 大学
2. 期 日：1965年12月6日～12日
3. 論文提出期限：題目および概要 1965年1月1日 本文原稿 1965年3月1日
4. 主 題：水理学および流体力学に関するもの一般
5. 照会ならびに出席希望の方は土木学会水理委員会までご連絡下さい。

第11回海岸工学講演会開催

1. 講演会：1964年11月25日(水)、26日(木)
2. 会場：大分農業会館6階大ホール(大分市舞鶴町)
3. 講演：

11月25日(木)

- | | | | |
|-----------------|--|---------|--|
| 9.00~9.10 | 委員長挨拶 | | |
| 1) 9.10~9.25 | 流れの中の有限振幅波(追補) | 運輸省港研 | 浜田徳一 |
| 2) 9.25~9.40 | クノイド波に関する研究 | 北大工学部 | ○岸力・佐伯浩 |
| 3) 9.40~9.55 | 表面波の2次干渉 | 運輸省港研 | 浜田徳一 |
| 4) 9.55~10.10 | 回折問題の一解法について | 電力中央研 | 和田明 |
| 5) 10.10~10.25 | 重複波に関する二、三の問題について | 大阪市大工学部 | 永井荘七郎 |
| 10.25~10.40 | 討議 | | |
| 10.40~10.50 | 休憩 | | |
| 6) 10.50~11.05 | 風波スペクトルの発生、発達と海面摩擦力に関する研究(2) | 電力中央研 | 日野幹雄 |
| 7) 11.05~11.20 | 水面に作用する風のせん断力と水面粗度について | 運輸省港研 | 光易恒 |
| 8) 11.20~11.35 | 浅海における波浪スペクトルの変形に関する二、三の実例 | 京大防災研 | 岩垣雄一・○柿沼忠男 |
| 9) 11.35~11.50 | 減衰領域における風波の研究 | 運輸省港研 | ○光易恒・木村久雄 |
| 11.50~12.05 | 討議 | | |
| 12.05~13.05 | 休憩 | | |
| 10) 13.05~13.20 | 海底摩擦による波高減衰に関する基礎的研究(2)——底面摩擦応力の測定について—— | 京大防災研 | ○岩垣雄一・土屋義人・坂井順行 |
| 11) 13.20~13.50 | 鉛直振動流による造波の理論について | 運輸省港研 | 合田良実 |
| 12) 13.35~13.50 | リレーを用いたステップ式波高計と波浪観測塔 | 北海道開発局 | ○村木義男・石田直之・高島和夫 |
| 13) 13.50~14.05 | 波向観測におけるレーダーの応用について | 九大工学部 | 井島武士・運輸省港研 |
| 14) 14.05~14.20 | 庄内海岸の波について | 東北工学部 | 三浦晃 |
| 14.20~14.35 | 討議 | | |
| 14.35~14.45 | 休憩 | | |
| 15) 14.45~15.00 | 防波堤開口部の潮流に伴う海底摩擦および垂直渦動粘性係数について | 京大防災研 | 中村重久 |
| 16) 15.00~15.15 | 東京湾の進入長波に対する振動応答特性 | 電力中央研 | ○日野幹雄・三菱原子力工業・日野和子 |
| 17) 15.15~15.30 | 数理模型による東京湾横断堤の防潮効果に関する研究 | 電力中央研 | ○伊藤剛・日野幹雄 |
| 18) 15.30~15.45 | 東京港の潮流に関する実験的研究 | 東大理学部 | 渡辺二郎 三菱原子力工業 日野和子
東大震研 木屋浦欣二郎・東大工学部 |
| 19) 15.45~16.00 | 高潮発生装置の試作とその予備実験 | 東大震研 | 相田勇・東大工学部 |
| 16.00~16.15 | 討議 | 阪大工学部 | ○室田明・村岡浩爾・岡田耕 |
| 16.15~16.25 | 休憩 | | |
| 20) 16.25~16.40 | 水門からの海水侵入に関する基礎的研究 | 阪大工学部 | 室田明・○神田徹 |
| 21) 16.40~16.55 | 石狩川河口の研究 | 北大工学部 | 福島久雄・柏村正和・○八鍬功・高橋将 |
| 22) 16.55~17.10 | 八郎潟干拓放水路の河口処理に関する実験的研究 | 農林省農土試 | ○中村充・白石英彦・佐々木泰雄 |

11月26日(木)

- | | | | |
|-----------------|---------------------|---------|------------------------|
| 23) 9.00~9.15 | 波による海底砂の移動限界と砂れんの発住 | 京大防災研 | ○野田英明・井保武寿 |
| 24) 9.15~9.30 | 波による浮遊砂に関する研究 | 東大工学部 | ○本間仁・堀川清司・電力中央研・鹿島遼一 |
| 25) 9.30~9.45 | 波による底質の変形について | 神戸大工学部 | ○松梨順三郎・KK新井組 大味啓介 |
| 26) 9.45~10.00 | 鹿島港海岸の漂砂について | 九大工学部 | ○井島武士・運輸省港研 佐藤昭二・○田中則男 |
| 10.00~10.15 | 討議 | | |
| 10.15~10.25 | 休憩 | | |
| 27) 10.25~10.40 | 重複波伝公式の適用限界について | 北大工学部 | 岸力 |
| 28) 10.40~10.55 | 砕波の波圧と堤体の滑動 | 中央大理工学部 | 林泰造・今井孝 |
| 29) 10.55~11.10 | 海岸堤防に作用する波圧について | 建設省土木研 | 富永正照・伊藤生哲 |
| 30) 11.10~11.25 | 海岸護岸に働く全波力に関する実験的研究 | 東大工学部 | 本間仁・堀川清司・長谷直樹 |

- | | | | |
|-----------------|------------------------------------|-----------------------------|-----------------|
| 31) 11.25~11.40 | 潮流のある海に用いる浮標に関する研究 | 大阪市大工学部 | ○永井荘七郎・小田一紀 |
| 11.40~11.55 | 討 議 | | |
| 11.55~13.00 | 休 憩 | | |
| 32) 13.00~13.15 | 重力式構造物(防波堤)の摩擦抵抗の増大について | 運輸省第3港湾建設局 | 加 川 道 男 |
| 33) 13.15~13.30 | カーテン防波堤とその特性について | 運輸省港研 | 森平倫生・柿崎秀作 |
| 34) 13.30~13.45 | 海岸構造物の設計基準水面について | 日大理工学部 | 久宝 保・竹沢三雄 |
| 35) 13.45~14.00 | 韓国東海岸の高潮災害復旧方法に関する研究 | 韓国国土建設庁 | 李文 燮・金 東 暉 |
| 36) 14.00~14.15 | 大分臨海工業地帯における理立地の消波護岸の設計について | 大分県 | 辰 巳 寿 男 |
| 14.15~14.30 | 討 議 | | |
| 14.30~14.40 | 休 憩 | | |
| 37) 14.40~14.55 | 海岸堤防のり面と波うちあげ高さとの関係(2) | 北大工学部 | 尾崎 晃・○佐藤幸雄・戸沢哲夫 |
| 38) 14.55~15.10 | 波高と潮位が越波と波のうちあげにおよぼす影響 | 京大防災研 | 岩垣雄一・島 昭・○井上雅夫 |
| 39) 15.10~15.25 | 海岸堤防への波のうちあげ高 ——海底勾配 1/30—— | 建設省土研 | 豊島 修・首藤伸夫・○橋本 宏 |
| 40) 15.25~15.40 | 表小段を持つ複断面型堤防への波のうちあげ高について | 建設省土研 | ○豊 島 修 |
| 41) 15.40~15.55 | 中空三角および中空三脚ブロックの安定および消波効果に関する実験的研究 | 神戸大工学部 | 田中 茂・杉本修一 |
| 42) 15.55~16.10 | 海岸堤防の越波におよぼす消波堤の効果 | 阪市大工学部 | 永井荘七郎・○高田 彰 |
| 16.10~16.15 | 討 議 | | |
| 16.15~16.35 | 休 憩 | | |
| 16.35~17.15 | 第9回海岸工学会議(リスボン)報告会 | 北大 尾崎 晃・東北大 岩崎敏夫・日本テトラ 白石直文 | |
| | | 東大 堀川清司・名大 樫木 享・京大 南 功 | |
| 17.15~17.25 | 委員長挨拶 | | |

4. 見学会：1964年11月27日(金)

Aコース) 別府 9.00~1号埋立地~大分港~高崎山~浜脇海岸~別府レストセンター(昼食)~城島高原~地獄めぐり~国際観光港~別府駅 17.00

定員 50名 参加費 200円(昼食含む)

Bコース) 別府 9.00~城島高原~小田の池~九重高原ホテル(昼食)~牧の戸峠~瀬の本~城山~阿蘇山頂~阿蘇駅~九重~由布院~別府駅 18.00

定員 50名 参加費 200円(昼食含む)

見学会参加ご希望の方は、コース、氏名ご連絡先を明記し参加費を添えて11月10日(火)までに土木学会海岸工学講演会係までお申込み下さい。

5. 旅館斡旋：別府市の旅館を斡旋します。

A 2,500円 B 1,500円(いずれも1泊2食入湯税, 奉仕料その他を含む)

斡旋ご希望の方は、往復はがきに到着日時, 経路, 宿泊日数を記入して10月24日(土)までに大分市荷揚町1大分県土木部港湾課宛にお申込み下さい。

第11回風に関するシンポジウム 講演募集

恒例により標記シンポジウムを下記により開催いたします。講演希望者は下記要項によりふるってご応募下さるようお願い申し上げます

1. 期 日：1964年12月15日(火)

2. 会 場：気象庁講堂(東京都千代田区大手町1の7)

3. 共 催：日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空学会・日本地震学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会・土木学会(幹事学会)

4. 講演申込期日：1964年10月31日(土)

5. 申込方法：10月31日までに題目, 氏名, 勤務先を明記し, 土木学会(または所属学会)宛お申込み下さい。

関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル4階)
 (電 大阪 (716) 7881 番 内線 336 番, 振替口座大阪 82599 番)

(1) 関西支部年次学術講演会 (昭和 39 年度)

1. 日 時: 1964 年 11 月 15 日 (日) 9 時~17 時 20 分

2. 場 所: 神戸大学工学部 電 神戸 (86) 0001, 1351 番, 神戸市灘区六甲台町1

国電「六甲道」または阪急電鉄「六甲」より市バス⑩「外大前」行で終点下車, 登り道徒歩約 10 分, ⑪「六甲台」行で「鶴甲口」下車, 下り道徒歩約 3 分, ⑫「六甲ケーブル下」行で「神戸大学前」下車, 登り道徒歩約 5 分で大学正門前通過後, 下り道徒歩約 5 分

3. 講演題目および講師:

A. 特別講演 (12.45~13.50) 大教室

12.45~12.50 挨拶

関西支部長 山崎 博

12.50~13.50 瀬戸内海について

神戸市長 工博 原口 忠次郎

B. 一般講演

I 構造力学, 橋梁工学, コンクリート

午前 (第1会場)

① 9.00~ 9.15 高張力ボルトとすみ肉溶接を併用した継手の一実験

神戸大学工学部 工博 ○鈴木 誠・桜井季男

② 9.15~ 9.30 単純トラスの鋼重について (第1報)

大阪市立大学工学部 工博 倉田宗章・○辻 康男

近畿復建設計部 上原 基也

③ 9.30~ 9.45 箱桁の座屈に関する一研究

京都大学工業教員養生所 工博 米沢 博・○三上市 蔵

④ 9.45~10.00 上路式ローゼの行列による解析

石川島播磨重工KK ○原 公・下瀬 健雄

⑤ 10.00~10.15 プレストレスト合成ラーメン

石川島播磨重工KK 成瀬 輝男

10.15~10.25 討 議

⑥ 10.25~10.40 衝撃集中荷重をうける半無限弾性板内の応力伝播に関する考察

京都大学工学部 工博 丹羽義次・○佐藤 誠

⑦ 10.40~10.55 吊橋の空気力学的応答に関する研究

京都大学工学部 工博 ○白石成文・京都大学大学院 宇都宮英彦

⑧ 10.55~11.10 近鉄線橋脚の振動測定結果について

京都大学工学部 工博 ○後藤尚男・石田昌弘

近畿鉄道KK 諏訪利夫・朝倉正章・藤田賢二

⑨ 11.10~11.25 水中橋脚の揺振動について

京都大学工学部 工博 後藤尚男・京都大学大学院 土岐憲三・○横山康夫

⑩ 11.25~11.40 スタッドシベル押抜症劣試験について

大阪大学工学部 工博 赤尾親助・○三宮和彦

11.40~11.50 討 議

昼 食

午後 (第1会場)

⑪ 14.00~14.15 振り抵抗をもつ格子梁と床版とを合成した模型破壊実験

大阪市立大学工学部 工博 倉田宗章

大阪市立大学大学院 ○正 道 博 昭

⑫ 14.15~14.30 大正橋における交通荷重によるひずみとたわみの分布について

京都大学工学部 工博 小西一郎・○山川純雄・神戸大学工学部 工博 西村 昭

大阪市土木局 近藤和夫・加藤隆夫・松尾橋梁KK 大久保忠彦

⑬ 14.30~14.45 ポリプロピレン系高分子セメント分散剤の二, 三の実用試験結果について

日華化学工業KK 土田 欣平

⑭ 14.45~15.00 高強度異形鉄筋コンクリートはりに関する一実験

京都大学工学部 工博 岡田 清・○千代恵司

⑮ 15.00~15.15 コンクリート舗装版の一試験

神戸大学工学部 工博 大村 裕

⑯ 15.15~15.30 中庸熱セメント使用のコンクリート試験舗装について

京都大学工学部 工博 岡田 清

京都市土木局 有坂松樹・○小沢健男

15.30~15.40 討 議

II 水文学, 水理学, 河川工学, 海岸工学

午前 (第2会場)

① 9.00~ 9.15 そ上する砂堆の発生機構について

神戸大学工学部 工博 松 梨 順三郎

② 9.15~ 9.30 動水圧の一近似公式 (補遺)

神戸大学工学部 工博 如中元弘・西宮市 ○亀田勝利

- ③ 9.30～9.45 開水路における円柱の抵抗に関する基礎的研究 京都大学工業教員養成所 野田英明
京都大学大学院 ○市原四郎
- ④ 9.45～10.00 土砂輸送パイプの抵抗法則について 京都大学工業教員養成所 大同淳之
市立六甲工業高等専門学校 ○日下部重幸
- ⑤ 10.00～10.15 盆地における地下水流出について 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・高木不折
10.15～10.25 討 議
- ⑥ 10.25～10.40 降雨特性と山地への浸透と山地崩壊 神戸大学工学部 工博 田中茂
⑦ 10.40～10.55 開水路流れにおける拡散過程について(第3報) 京都大学工学部 工博 岩佐義明
京都大学大学院 今本博健・藤田善信
- ⑧ 10.55～11.10 開水路流れにおける拡散過程について(第4報) 京都大学工学部 工博 岩佐義明・京都大学大学院 ○今本博健
⑨ 11.10～11.25 開水路流れにおける乱れ計測について(第3報) 京都大学工学部 工博 石原藤次郎
京都大学大学院 今本博健・山本弥四郎
- ⑩ 11.25～11.40 底部取水工に関する実験的研究 京都大学工学部 工博 岩佐義明・京都大学防災研究所 中川博次
京都大学大学院 ○宇民正
- ⑪ 11.40～11.55 開水路湾曲部の水利学的特性に関する研究(その5—球型ピット管による流向測定—
11.55～12.05 討 議 京都大学防災研究所 村本嘉雄・京都大学工学部 ○井上喬之
- 昼 食
- 午後(第2会場)
- ⑫ 14.00～14.15 水平路路上に設置された鉛直水門の流出機構について 京都大学工学部 工博 岩佐義明
京都大学大学院 ○名合宏之
- ⑬ 14.15～14.30 開水路急変部の水理学的性状に関する研究(主として急変部近傍における流速分布について) 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・京都大学大学院 志方俊之・河合恂二
- ⑭ 14.30～14.45 強制蛇行に関する実験的研究 京都大学防災研究所 工博 矢野勝正・工博 芦田和男・京都大学大学院 ○塩見靖国
- ⑮ 14.45～15.00 吉野川の出水特性について 京都大学防災研究所 工博 石原安雄・長尾正志・京都大学大学院 ○川口毅
- ⑯ 15.00～15.15 洪水流の変形に関する実験的研究 京都大学防災研究所 工博 矢野勝正・工博 芦田和男
京都大学大学院 ○高橋保
- ⑰ 15.15～15.30 波浪スペクトルの変動性について 京都大学防災研究所 柿沼忠男 京都大学大学院 ○宮井宏
15.30～15.40 討 議
- ⑱ 15.40～15.55 波による底面摩擦応力の実験的研究 京都大学防災研究所 工博 岩垣雄一・工博 土屋義人
京都大学大学院 ○陳活雄
- ⑲ 15.55～16.10 捨石消波堤の設計施工について 運輸省第3港湾建設局和歌山港工事事務所 御代田敬一
- ⑳ 16.10～16.25 港湾工事における流し込みアスファルトの施工について 運輸省第3港湾建設局神戸調査設計事務所 加川道男
- ㉑ 16.25～16.40 半截楕円形湾の副振動について 神戸大学工学部 杉本修一
16.40～16.50 討 議

III 土質力学, 基礎工学, 道路工学

- 午前(第3会場)
- ① 9.00～9.15 振動による砂の沈下について 神戸大学工学部 工博 谷本喜一・岩崎照昌・下村周
- ② 9.15～9.30 地盤の波動伝播の数値計算例(第2報) 立命館大学理工学部 工博 島山直隆・芹生正己
- ③ 9.30～9.45 毛細管乾燥工法の現地試験について 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・大林芳久
- ④ 9.45～10.00 丘陵地帯の各種土質における宅地造成工事について 神戸市土木局 松本幸憲
- ⑤ 10.00～10.15 電気化学的注入工法について 大阪市立大学工学部 工博 三瀬貞
10.15～10.25 討 議
- ⑥ 10.25～10.40 土中に格子を入れた基礎について 中堀ソィルコーナー 中堀和英
- ⑦ 10.40～10.55 薬液注入工法に関する実験的研究 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・横井照明
- ⑧ 10.55～11.10 凝集性界面活性剤による埋立土の土質改良について 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・李東旭・井上啓司
- ⑨ 11.10～11.25 V字断面内における土圧の分布について 京都大学工業教員養成所 大同淳之・県立御所工業高等学校 ○山口勝弘
- ⑩ 11.25～11.40 斜面の安定解析に対する考察 京都大学工学部 工博 ○赤井浩一・京都大学大学院 細井武
- ⑪ 11.40～11.55 擁壁設計に関する一考察 京都大学大学院 室達朗
11.55～12.05 討 議
- 昼 食
- 午後(第3会場)
- ⑫ 14.00～14.15 真砂土の工学的性質に関する研究(第2報) 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・西田彦

- ⑬14.15~14.30 砂質土のせん断力に関する一考察 京都大学工業教員養成所 工博 久保田敬一・○佐藤忠信
 県立和歌山工業高等学校 渡 辺 義 昭
- ⑭14.30~14.45 土の不飽和浸透に関する研究 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・大阪市港湾局 ○佐々木 伸
- ⑮14.45~15.00 地中ダム化による地下水の規制 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○河野伊一郎
- ⑯15.00~15.15 被圧地下水における浸透流量の時間的変化 京都大学工学部 宇野尚雄・京都大学大学院 ○西村伊久夫
- ⑰15.15~15.30 三軸試験における粘土試料内の間げき水圧分布 京都大学大学院 増 本 治 夫
 15.30~15.40 討 議
- ⑱15.40~15.55 粘土の繰返し圧密について 京都大学工学部 ○松尾 稔・京都大学防災研究所 八木則男
- ⑲19.55~16.10 堆積粘土の異質性 京都大学工学部 足立紀尚・○久我 昂
- ⑳16.10~16.25 粘土の応力・ヒズミ関係の一考察 京都大学防災研究所 工博 柴田 徹・○軽部大蔵
- ㉑16.25~16.40 粘土の破壊に関する二、三の実験と考察 京都大学防災研究所 工博 村山朔郎・石井義明
 京都大学大学院 ○村 山 弘 治
 京都大学工学部 石 崎 肇 士
 大阪市立大学工学部 鈴 木 健 夫
- ㉒16.40~16.55 動的三軸圧縮試験の試作について
- ㉓16.55~17.10 砂利道の飛じん測定について
 17.10~17.20 討 議

IV 鉄道工学, 土木計画, 衛生工学

午前 (第4会場)

- ① 9.00~ 9.15 道路網の検討に関する一考察 大阪市立大学工学部 工博 毛利正光・○西村 昂
- ② 9.15~ 9.30 駅勢圏に関する一考察 京都大学工学部 天 野 光 三
- ③ 9.30~ 9.45 輸出埠頭のバース計画に関する理論的研究 京都大学工学部 工博 吉川和広・○小山計三
- ④ 9.45~10.00 国内線定期航空客の需要予測に関する研究 京都大学工学部 寺 戸 奎 介
- ⑤10.00~10.15 通勤からみた都市近郊の効用について 京都大学工学部 天野光三・○中原清志
 10.15~10.25 討 議
- ⑥10.25~10.40 路外駐車場の容量決定に関する一考察 京都大学工学部 工博 米谷栄二・○明神 証
- ⑦10.40~10.55 起終点交通量推定に関する一考察 京都大学大学院 河 上 省 吾
- ⑧10.55~11.10 ネットワークにおけるマルコフ理論の応用 京都大学工学部 香 川 一 男
- ⑨11.10~11.25 ランダム・ウォーク法による京都市の交通量推定について 京都大学工学部 工博 米谷栄二・○西藤立雄
- ⑩11.25~11.40 神戸市における主要施設別交通発生状況について 京都大学工学部 工博 米 谷 栄 二
 新日本技術コンサルタント 玉井撰郎・○三浦利夫
- ⑪11.40~11.55 遷移確率による交通量推定について 京都大学工学部 佐佐木 綱
 11.55~12.05 討 議

昼 食

午後 (第4会場)

- ⑫14.00~14.15 排水計画における開き・網の水理解析 (その1) (スライド使用) 京都大学工学部 工博 合田 健・工博 末石富太郎・○勝矢淳雄
- ⑬14.15~14.30 高速道路トンネルの空気汚染とその拡散移動に関する研究
 ——第1報トンネル排気の拡散にたいする Sulton 式の適用について—— (スライド使用)
 京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・○西田耕之助・八木康雄
- ⑭14.30~14.45 大型ワールブルグ装置を用いた活性汚泥生物反応の研究 (スライド使用) 京都大学工学部 ○中西 弘・吉田作治
- ⑮14.45~15.00 エアレーション実験におけるスケール効果について (スライド使用) 京都大学工学部 宗宮 功・○藤原正弘
 15.00~15.10 討 議
- ⑯15.10~15.25 海洋の放射能汚染について (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井重久・工博 井上頼輝・○寺島 泰
- ⑰15.25~15.40 イオン交換樹脂による放射性廃棄物の処理 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井重久・工博 井上頼輝・寺島 泰・○菅原正孝
- ⑱15.40~15.55 新潟震害調査——衛生工学関係施設—— 京都大学工学部 工博 井上頼輝・○雄倉幸昭・宗宮 功・田中 勝
- ⑲15.55~16.10 カナダ・米園における衛生工学の最近の動向 京都大学工学部 工博 末 石 富 太 郎
- ㉑16.10~16.20 トレーサーを利用した用廃水処理に関する研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井重久・工博 井上頼輝・○工藤 章
 16.25~16.35 討 議

4. 講演概要頒布: 論文抄録集 (B5版, オフセット印刷) をつぎの通り頒布いたします (ただし 330 部限り申込先着順)。

正会員 200 円, 学生學員 100 円, 非会員 300 円, 講演者 (○印) は無料, ただし会員テキスト割引券は使用できません。テキスト前送希望者は送料概算 100 円ご送付下さい (余れば切手にて返却, 不足の時は請求いたします)。

5. 聴 講：無料，来聴歓迎
 6. 申込方法：講演概要希望者は 1964 年 10 月 26 日（月）までに勤務先，連絡先，会員の種別，氏名および講演会に出欠を明記のうえ上記講演概要代金および送料（送金は振替口座利用）を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

（2）道路照明および保安設備に関する研究会

1. 日 時：1964 年 10 月 27 日（火）13 時～16 時
 2. 場 所：大阪合同庁舎別館 2 階大会議室，大阪市東区大手前之町，市電，京阪東口下車
 3. 題目と講師：
 ①13.00～14.00 第二阪神国道の照明および保安設備について 近畿地建第二阪神国道工事事務所長 松尾 寿一
 ②14.00～15.00 阪神高速道路西横堀川工区の照明設備について 阪神高速道路公団工務部長 野口 勇二郎
 ” 副参事 岸田 立夫
 ③15.00～16.00 名神高速道路の保安設備について 日本道路公団名神高速道路管理局技術部長 江崎 健一郎
 各講師とも講演 45 分，質疑応答 15 分
 4. 定 員：180 名
 5. 聴 講：無料（ただし参加希望者はハガキに勤務先，連絡先，氏名および研究会名を記入して 10 月 17 日（土）までに土木学会関西支部へ申し込むこと）

（3）学生のための映画会

参加費無料，正会員の方の参加も歓迎します

（第 2 回）

- 日 時：1964 年 10 月 17 日（土）13 時より
 場 所：大阪大学工学部 1 号館 4 階講堂 電，大阪（351）6351 番
 大阪市都島区東野田町 9 市電東野田または国電京橋下車
 上映映画：関門トンネルよみがえる（20 分），新しい街づくり（25 分），伸び行く工業用水道（カラー 25 分），白い煙突（カラー 40 分）
 定 員：250 名

（第 3 回）

- 日 時：1964 年 10 月 24 日（土）13 時より
 場 所：大阪工業大学第 2 講堂 電，大阪（952）3131 番
 大阪市旭区大宮北立町 市電大宮町下車
 上映映画：静かなる建築工法（カラー 29 分），大阪駅沈下対策（30 分），大阪環状線安治川橋りょう（カラー 15 分），東京—大阪 3 時間総集編（カラーシネスコ 30 分），名神高速道路工事（カラー 30 分），ブルドーザーの使用法（カラー 20 分）
 パワーショベルとダンプトラックの使用法（カラー 20 分）
 定 員：300 名

（第 4 回）

- 日 時：1964 年 10 月 31 日（土）13 時より
 場 所：大阪市立大学工学部 第 1 教室 電，大阪（341）4271 番
 大阪市北区南扇町 大阪市水道局庁舎西側
 上映映画：（第 3 回）と同一内容につき省略
 定 員：250 名

（第 5 回）

- 日 時：1964 年 11 月 7 日（土）14 時より
 場 所：京都大学工学部土木総合館 201 号室 電，京都（77）8111 番 京都市左京区吉田本町 市電，百万遍下車
 上映映画：東京—大阪 3 時間総集編（カラーシネスコ 30 分），海へ伸びる大阪計画編（70 分），海へ延びる大阪建設編（90 分）
 定 員：150 名

（4）奈良県における総合開発の諸問題についての講演会

（1964 年 10 月 9 日（金）奈良市庁別館）

詳細は学会誌 9 月号をご覧ください。